



日本赤十字社

# 第 68 回定期総会資料

## 表 彰 議 事

【第一号議案】 令和 2 年度事業経過報告

【第二号議案】 令和 2 年度決算報告

【第三号議案】 令和 2 年度監査報告

【第四号議案】 令和 3 年度事業計画（案）

【第五号議案】 令和 3 年度予算（案）

【第六号議案】 その他

日本赤十字社診療放射線技師会

## 表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 安彦 茂

表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

令和 3 年功労書被表彰者

(表彰規程第 2 条の 1)

伊達赤十字病院	藤部 英俊
浦河赤十字病院	三浦 康成
函館赤十字病院	高田 礼二
仙台赤十字病院	安彦 茂
石巻赤十字病院	及川 順一
水戸赤十字病院	大貫 信也
那須赤十字病院	山下 明
原町赤十字病院	萩原 健
さいたま赤十字病院	尾形 智幸
深谷赤十字病院	中山 進
大森赤十字病院	五十嵐 豊
福井赤十字病院	山崎 亮一
浜松赤十字病院	佐藤 幸夫
名古屋第一赤十字病院	大野 正美
長浜赤十字病院	奥出 隆夫
日本赤十字社和歌山医療センター	口井 信孝
益田赤十字病院	河野 俊史
三原赤十字病院	福本 秀和
三原赤十字病院	岡田 秀美
嘉麻赤十字病院	嶋田 三賀佐
大分赤十字病院	戸口 豊宏

(敬称略、順不同)

令和 3 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

### 個人表彰の部

該当なし

施設表彰の部

該当なし

令和 3 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業  
(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

## 【第一号議案】令和 2 年度事業経過報告

### 総括

令和 2 年 6 月に大阪市で開催される予定だった日本赤十字社診療放射線技師学術総会は、COVID-19 感染拡大のため急遽中止となった。また、その後も感染拡大が終息せず、会の各ブロック研修会や施設代表者会議等の様々な行事が中止となった。こういった中、会の会議については、事業計画時より Web 会議を実施する方向で準備していたため、滞りなく 3 回の会議を全て Web 上で実施した。今年度は、本社の様々な会議についても Web で実施しており、今後は会議だけでなく研修会についても Web を利用した開催が必要と感じた。また、次年度に予定しているホームページ更新に向け、現 Web 制作会社と HP の仕様について検討を開始した。

また、本会では日赤のスケールメリットを生かした取り組みの一つとして、本社医療支援部と協働で放射線機器の共同購入に対し協力してきたが、令和 2 年度に国立病院機構・JCHO・労災病院で実施している共同購入に加わり初めて入札を実施した。本会では、この共同購入事業に対しアドバイザーとして協力しているが、参加施設がまだ多くないため、今後より多くの赤十字病院に参加していただけるように各施設の皆様のご意見を聞きながら事業を進めていきたいと考えている。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、令和 2 年度の総括とする。

## 令和 2 年度 会長・副会長行動録

### 会 長 安 彦 茂

令和 2 年 6 月 11 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札評価基準検討会 (Web 開催)

令和 2 年 7 月 17 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 8 月 25 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札技術審査委員会 (Web 開催)

令和 2 年 10 月 6 日

大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 18 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 26 日

第 6 回中部ブロック技師長・責任者会議 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 28 日

日本診療放射線技師会 診療放射線技師養成機関・職域団体懇談会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 1 日

令和 2 年度第 1 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 6 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 10 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 21 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる共同入札検討会 (Web 開催)

令和 3 年 2 月 9 日

大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる評価基準検討会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 22 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 23 日

令和 2 年度第 2 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (Web 開催)

### 副会長 正者 智昭

令和 2 年 6 月 11 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札評価基準検討会 (Web 開催)

令和 2 年 7 月 17 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)  
令和 2 年 8 月 25 日  
令和 2 年度大型医療機器共同入札技術審査委員会 (Web 開催)  
令和 2 年 10 月 6 日  
大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)  
令和 2 年 11 月 18 日  
日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)  
令和 2 年 11 月 28 日  
診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会 (Web 開催)  
令和 2 年 12 月 6 日  
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)  
令和 2 年 12 月 10 日  
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)  
令和 2 年 12 月 21 日  
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる共同入札検討会 (Web 開催)  
令和 3 年 2 月 1 日  
令和 2 年度災害医療支援部会 (Web 開催)  
令和 3 年 2 月 9 日  
大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)  
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる評価基準検討会 (Web 開催)  
令和 3 年 3 月 22 日  
日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

**副会長 竹安 直行**

令和 2 年 7 月 17 日  
日本赤十字社診療放射線技師会 第 1 回常任理事会 (Web 開催)  
令和 2 年 11 月 18 日  
日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回常任理事会 (Web 開催)  
令和 3 年 2 月 10 日 (Web 開催)  
ホームページの不具合に関する検討会  
令和 3 年 3 月 9 日 (Web 開催)  
ホームページの不具合に関する検討会  
令和 3 年 3 月 22 日  
日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)  
令和 3 年 3 月 30 日 (Web 開催)  
ホームページの不具合に関する検討会

**副会長 荒井 一正**

令和 2 年 7 月 17 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 10 月 20 日

第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 18 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 10 日

チーム医療の推進に関する検討部会 研修会講演リハーサル (Web 開催)

令和 2 年 12 月 18 日

令和 2 年度チーム医療の推進に関する研修会 講演 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 1 日

第 2 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 22 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

## 各部事業経過報告

### 1. 総務部報告

#### (1) 第67回日本赤十字社診療放射線技師会定期総会の中止および電磁

令和2年6月12日（金）15：30～17：00、ホテルメルパルク大阪で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により定期総会が中止となった。

審議予定であった議案については会員による電磁的投票を実施した。その採決結果について本会監事が確認し理事会で審議し承認された。

#### ※功労賞被表彰者 23名

（順不同、敬称略）

（釧路）相山 幸紀	（仙台）横山 高広	（足利）久保田 健夫
（深谷）笠井 久幸	（日赤医療センター）竹内 宏	（大森）樋口 新一
（長岡）鈴木 光男	（長野）大塚 亨	（名一）大滝 司
（名二）亀谷 健一	（大津）森田 光正	（大津志賀）猪飼 正夫
（京一）福田 勤也	（京二）河本 勲則	（鳥取）池原 準
（松江）磯田 康範	（益田）増野 利政	（岡山）有森 秀夫
（広島）田中 久善	（高松）安部 一成	（松山）水口 司
（松山）池本 俊成	（松山）久 武	

#### ※奨励賞被表彰者 3名

（深谷）高柳 幸恵 （武蔵野）小川 亮 （和歌山医療センター）石原 佳知

#### (2) 常任理事会、理事会の開催及び議事録の作成

常任理事会を2回以下のとおりに開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

- 第1回常任理事会  
令和2年7月17日（金）20：00～21：00
- 第2回常任理事会  
令和2年11月18日（金）16：00～17：00
- 第3回常任理事会  
令和3年3月22日（月）16：00～17：00
- 理事会  
令和3年4月16日（金）15：00～17：00

（全てWeb開催）

### 2. 会員動向（令和3年3月4日現在）

会員数 1521名

新入会会員数 72名（新入会予定者含む）

退会会員数 50名

組織率 97.3%



### 3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づいて電報を送った。(順不同、敬称略)

結婚式祝電 1名

弔電 1名

### 4. 学術部報告

(1) 令和2年日本赤十字社診療放射線技師学術総会「災害・救急医療を考える」を6月12日(金)13日(土)に大阪市にて開催予定であったが、コロナ禍の影響により中止とした。

### 5. 専門部報告

#### 【核医学専門部】

今年度は活動を行えず。

#### 【乳房画像専門部】

「がんの放射線治療後の免疫力低下について」を日本赤十字社診療放射線技師会 HP の会員 SNS に掲載。

#### 【医療情報専門部】

医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケートの実施。結果の解析と公開。

#### 【MRI 専門部】

今年度は、新型コロナウイルスの影響により通常業務が多忙となるなど影響が大きく、MRI 専門部としての活動をほとんど行うことができなかった。

#### 【CT 専門部】

令和2年度 CT 専門部会の活動は、コロナ感染患者の拡大防止や主要都市での緊急事態宣言も発令されたために、CT 部門の交流会や親睦会につきましては残念ながら開催を断念せざるを得ませんでした。また、CT 専門部会委員も業務でコロナ感染患者の画像診断で CT 検査を行い、現況では患者への対策に日々労力を費やされえていたことからアンケート調査の準備もできませんでした。さらには、CT 業務に関する会員からの質問もありませんでした。ただ CT 担当者のメーリングリストの継続更新には取り組んでいました。令和2年度は、コロナ禍の中、計画通りの活動ができておりません大変申し訳ありませんでした。令和2年度の活動計画を令和3年度に継続することをお願いいたします。

#### 【治療専門部】

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により学術総会および各ブロック研修会が中止となり、専門部としての活動も制限される状況となりました。関連学会では新たな環境に適応したオンラインセミナーや学術大会が実施されており、各世話人が今後の専門部運営について模索してきました。Web を活用した赤十字病院スタッフ間の関係構築のため、専門部世話人による Web 会議開催に向けた準備を進めています。また、これまで会員 SNS

を利用した専門部活動を継続してきた結果として、このような状況下においても会員 SNS への投稿が定期的に行われており、会員 SNS の利用価値が示されていると考えます。

## 6. 災害医療支援部報告

今年度は学術総会、各ブロック研修会がすべて中止となり、「災害」に関する講演を行うことができなかった。

### 【原子力災害】

(1) 令和 2 年 12 月 11 日（金）17:00～18:00 第 1 回原子力災害医療アドバイザー会議に参加。「Teams」による Web 会議

そこで「原子力災害関連事業の今後の方針」が示された。

★規模を縮小するも人材育成の継続は行うこと

3 回/年の実施 → 1 回/年の実施 30 人/回を養成

★原子力災害時の助言体制を確保するため、原子力災害医療アドバイザーによる会議を継続すること

2 回/年の実施 → 1 回/年の実施 現体制の維持

また、日赤救護員の育成にかかる体系整理（案）が示される。

★救護の基礎部分である共通課程を研修して専門課程にステップアップする際に「原子力災害医療基礎研修」を取り入れる。その際、基本 Web 研修とするが、対面研修の必要性について問われ、線量計の使用方法については必要であるとの意見を挙げてある。

(2) 令和 3 年 2 月 17 日（水）16:30～17:30 第 2 回原子力災害医療アドバイザー会議に参加。「Teams」による Web 会議

前回示された「原子力災害医療基礎研修会」と「日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会」との研修内容比較が提示され、意見交換を行った。最後に各自の意見をアンケートで取りまとめることとなった。

### 【国内災害】

新型コロナウイルスの影響により今年度の活動は特に無し。

### 【国際災害】

新型コロナウイルスの影響により今年度の活動は特に無し。

## 7. 広報部報告

(1) 電子会誌 12 号の作成

### 【会誌内容】

①特集テーマ：「装置メーカーの感染対策」メーカー・6 題

：「読影補助」大分赤十字病院・1 題

②施設紹介 3 施設（福島赤十字病院、芳賀赤十字病院、前橋赤十字病院）

- ③技師長最終年総括 1 題（小川赤十字病院・小林技師長）
- ④本会の動き（未定）
- ⑤ホームページへの掲載（4 月中旬予定）
- ⑥名誉会員への CDR 送付（4 月下旬予定）

## 8. IT 推進部報告

- (1) ホームページの管理運営
  - ・入会・退会・お問い合わせへの返信
- (2) ホームページの変更および更新作業
  - ・会員 SNS のメーリングリスト整備
  - ・会員 SNS の共有ホルダー整理
  - ・面構成の維持管理作業
- (3) メーリングリストの更新作業
  - ・施設代表者・専門部など
- (4) 次期ホームページの準備
- (5) ホームページ登録会員数
  - ・登録会員数 1393 名
  - ・登録会員比率 92%

## 9. チーム医療部報告

- (1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、チーム医療活動報告を予定していたが、コロナ禍の影響により学術総会が中止となった。
- (2) 令和 2 年度第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会（Web 会議）  
開催日：令和 2 年 10 月 20 日（火）  
令和 2 年度第 2 回チーム医療の推進に関する検討部会（Web 会議）  
開催日：令和 3 年 3 月 1 日（月）部会委員として荒井副会長が出席した。
- (3) 令和 2 年度第 1 回チーム医療の推進に関する研修会（Web 開催）  
開催日：令和 2 年 12 月 18 日（金）荒井副会長が講演を行った。
- (4) 日本赤十字社チーム医療の推進に関するガイドライン第 2 版を、本会ホームページに掲載した。

## 10. 教育部報告

- (1) 提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行っている。次年度も継続する。

## 11. 組織調査部報告

(1) 令和 2 年度 4 月 1 日より全国赤十字施設代表宛に年度初頭の会員調査を実施し、新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。

(2) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い本会会員動向の把握に努めた。

(3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。

(4) 令和 2 年 10 月 8 日よりベンチマーク調査を実施し、結果を令和 3 年 2 月 26 日に全国赤十字施設代表宛に配信した。

## 12. 表彰部報告

(1) 令和元年度理事会にて、令和 2 年功労賞（表彰規程 2 条 1）被表彰者 23 名、奨励賞（同 2 条 2）個人の部・被表彰者 3 名を決定した。

(2) 令和 2 年 6 月 12 日第 67 回定期総会（開催予定日）の日付にて表彰状・記念品の発送を令和 2 年 10 月 1 日に完了した。

(3) 令和 2 年 11 月 19 日から令和 3 年 2 月 26 日にかけて、令和 2 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

## 13. ブロック活動報告

### (1) 北海道ブロック

① 令和 2 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

開催日：令和 2 年 6 月 30 日（水）

開催方法：メール会議

参加施設：10 施設 10 名

② 第 30 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

・コロナ禍のため中止

### (2) 東北ブロック

① 東北ブロック施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

② 東北ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

### (3) 東部ブロック

① 令和 2 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議

- ・コロナ禍のため中止
- ②東部ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議
  - ・コロナ禍のため中止

#### (4) 中部ブロック

- ①中部ブロック業務研修会
  - ・コロナ禍のため中止
- ②施設代表者会議
  - ・コロナ禍のため中止
- ③中部ブロック事前連絡会議

開催日：令和 2 年 11 月 26 日（木）16:30～17:30 迄

開催方法：Zoom を使用した Web 会議

担当施設：安曇野赤十字病院

- 議題：①次年度中部ブロック事業案について
- ②中部ブロック役員改選報告および任期について
  - ③施設の近況報告
  - ④本部報告（安彦会長）

- ④中部ブロック代表者会議

開催日：令和 3 年 3 月吉日 開催予定

開催方法：Zoom を使用した Web 会議

担当施設：名古屋第二赤十字病院

#### (5) 近畿ブロック

- ①近畿ブロック業務研修会
  - ・コロナ禍のため中止
- ②令和 2 年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

開催日：2020 年 9 月 7 日（月）17:00～18:30

開催方法：Web 会議

担当施設：舞鶴赤十字病院

- 議題：1) 日本赤十字社診療放射線技師会本部報告
- 2) 近畿ブロック規約の改定について
  - 3) 討議事項について
    - 3-1 討議事項⑯ブロック研修会施設代表者会議の開催時期について
    - 3-2 討議事項⑰技師会ベンチマーク調査
  - 4) その他 ブロック担当表の変更について
- ③令和 2 年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

開催日：令和 3 年 3 月 9 日（火）17：00～17：50

開催方法：Web 会議

担当施設：舞鶴赤十字病院

議 題：1) 日本赤十字社診療放射線技師会本部報告

2) 検査着について

3) 次年度事業計画案について

3-1 ブロック研修会について

開催日：10 月 23 日（土）を予定

開催方法：web もしくは Hybrid

その他：情報交換会はなしで日帰り

医学会総会が 10 月 21、22 日に福岡にて開催予定である。合わせて感染状況をみて開催を検討する。

3-2 ブロック活動費について

3-3 施設代表者会議について

4) その他

4-1 4 月の横浜学会の参加について

4-2 神戸赤十字病院の古東技師長定年退職の報告

## (6) 中四国ブロック

①令和 2 年度中四国ブロック施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

②中国四国ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

## (7) 九州ブロック

①九州ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

②施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

## 【第二号議案】令和2年度決算報告

## 1. 令和2年度学術定期総会収支報告

令和2年度の学術定期総会は中止により収支報告なし

## 2. 令和2年度一般会計決算報告書

## 令和2年度一般会計決算報告書

2021年3月31日現在 金額(円)

収 入 の 部				
科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	増減	備考
会費	4,833,000	4,815,000	△ 18,000	3,000×1,605名
入会金	90,000	68,000	△ 22,000	1,000×68名
HP広告収入	1,150,000	1,100,000	△ 50,000	広告協賛
雑収入	2,000	35	△ 1,965	
前年度繰越金	1,306,346	1,306,346	0	
合計	7,381,346	7,289,381	△ 91,965	

支 出 の 部				
科目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	増減	備考
総会費	100,000	0	△ 100,000	
会議費	2,150,000	22,110	△ 2,127,890	web会議用アプリケーション年間契約費
ブロック活動費	1,400,000	0	△ 1,400,000	
渉外費(旅費)	450,000	0	△ 450,000	
表彰費	270,000	271,948	1,948	賞状副賞・活動費
学術部費	10,000	0	△ 10,000	活動費
専門部費	30,000	0	△ 30,000	活動費
財務部費	50,000	36,728	△ 13,272	活動費
組織調査部費	10,000	0	△ 10,000	活動費
広報部費	40,000	17,940	△ 22,060	活動費
IT推進部費	40,000	8,558	△ 31,442	活動費
災害医療支援部費	500,000	0	△ 500,000	活動費
事務局費	300,000	18,800	△ 281,200	活動費・慶弔費
学術総会助成金	0	0	0	
HP管理運営費	520,000	495,000	△ 25,000	構築サーバー利用費、会誌更新費
HP特別積立金	0	3,000,000		
基金積立費	100,000	100,000	0	積立て基金へ繰り出し
予備費	1,411,346	0	△ 1,411,346	
合計	7,381,346	3,971,084	△ 6,410,262	

(収入7,289,381－支出3,971,084＝残金3,318,297)

残金 3,318,297 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣

## 3. 令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会  
特別積立基金決算報告書

2021年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	1,050,750	
定期預金利息	92	令和2年度分
令和2年度積立金	100,000	一般会計より繰り入れ
合計	1,150,842	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

## 4. 令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP 特別積立基金決算報告書

令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会  
HP特別積立基金決算報告書

2021年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,000,493	
定期預金利息	172	令和2年度分
令和2年度積立金	3,000,000	
合計	5,000,665	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂



## 監事報告

日本赤十字社診療放射線技師会会則 15 条、第 26 条、及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約 7 条に基づき、令和 3 年 3 月 24 日～30 日にかけて、会長、副会長、財務担当等役員の下、令和 2 年度の Web での監査を実施しました。

### 1、総括

会員の皆様方におかれましては、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大によりコロナ患者対応等で感染に細心の注意をはらい、業務を行っていることと思います。これにより、活動自粛での総会・ブロック研修会などが開催できず、誠に残念に思います。会員の皆様方の顔が見えない活動が昨年度より引き続き、令和 2 年度も寂しい活動状況でした。これからも暫くこの影響は続くものと予想されます。新型コロナの感染動向次第では、会務・研修会・総会の開催方法（Web 開催）の検討を行う必要があります。本会は赤十字本社の活動方針に従い試行錯誤の状況で会議開催や各専門部への支援などに苦渋されて参りました。役員の皆様大変感謝申し上げます。今後は大変な時期を迎えますが、この新型コロナによる社会的な変化により、本会の新たな発想の展開が生まれることを祈念いたします。

新型コロナが早期収束し通常の業務・活動ができることを願い、そして会員の皆様方には感染に注意を払い、ご健康には十分留意をお願いいたします。

### 2、事業

令和 3 年度は、計画していました事業が新型コロナウイルスの感染拡大によって行われませんでした。昨年度の総会及び常任理事会においても Web 開催となり会員の皆様方には申し訳なく思います。今年 6 月に仙台で行われる総会に関しましても、赤十字本社の方針も御座いますが、やむなく会員の皆様を憂慮し、中止とさせていただきます。今後は、Zoom 等を用い開催できるよう IT を整備する必要があると思います。

### 3、会計

会長、副会長、財務担当等関係役員の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

令和 3 年 3 月 31 日

日本赤十字社診療放射線技師会

監事

磯田康範



日本赤十字社診療放射線技師会

監事

山口豊良



## 【第四号議案】令和 3 年度事業計画案

### 総括

本年 1 月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大により、2 度目の非常事態宣言が発令された。以前から冬になると感染が拡大するだろうと危惧されていたが、残念なことにこの予想は当たり、1 月初めには COVID-19 感染者の数が一日当たり全国で 7,000 人を超えるようになった。COVID-19 のワクチン接種が開始されたことが希望の光であるが、国民全体が接種するまでに時間がかかることに加え、どのくらいの期間ワクチンによって防御免疫が維持できるかという免疫持続性についての評価がまだできていないため、今年の冬もこの感染症が再拡大する可能性も考慮しなければならない。この COVID-19 は、人と人との接触を介して感染拡大する。しかし、人と人との接触なしに社会は成り立たない、この矛盾する課題にどう対応するか、人類の進化が問われているのである。

このような感染拡大に対して、国の医療制度改革に大きな変化はなく、2020 年 7 月 17 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2020」の中で、COVID-19 を踏まえた「新たな日常」に対応した医療提供体制の構築の方針が盛り込まれた。その内容は、「COVID-19 の対応を着実にやりながら、人口構造が変化する 2040 年に向け、医療施設の最適配置、働き方改革、医師偏在対策の 3 つの改革を同時に進めていく」である。しかし、感染症対策の拡充は必要であり、今後の地域医療計画にも大きく影響すると考えている。

令和 3 年度の本会の事業は、新型コロナウイルスの影響で、予定通りに実施できない可能性があるが、学術総会や施設代表者会議、各ブロックの研修会を予定している。開催形式については、現地開催だけではなく、ハイブリッド方式（現地開催および Web 開催の併用）や Web 開催も含めて検討したいと考えている。また、放射線機器の共同購入に対しは本社医療支援部にアドバイザーとして協力を行っていきたいと考えている。

本会の活動は、連年通り適宜にホームページ上で情報発信を行うと共に会の運営状況についてもお伝えしながら活動を行う予定である。本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともより一層のご協力をお願いしたい。

以上、令和 3 年度事業計画案の総括とする。

## 各部事業計画案

### 1. 総務部活動計画案

(1) 令和 3 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第 68 回定期総会

令和 3 年学術総会を令和 3 年 6 月 4 日（金）、6 月 5 日（土）2 日間にわたって、仙台国際センターで開催との案があるが、コロナ感染状況によって開催について不透明である。

(2) 令和 3 年学術定期総会予算案

開催できるか不明であるため、予算について検討できていない。

(3) 令和 3 年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を 3 回および理事会を 1 回開催し、各部の活動報告および検討事項については審議を行う。その内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を開催する。コロナの感染状況によっては Web 開催となる。

- 第 1 回常任理事会 令和 3 年 7 月 Web 会議
- 第 2 回常任理事会 令和 3 年 10 月 Web 会議もしくは高知赤十字病院
- 第 3 回常任理事会 令和 4 年 1 月 16 日（日）日赤本社 201 会議室
- 理事会 令和 4 年 4 月 日赤本社
- 臨時常任理事会 必要時に Web またはメール会議を開催
- (4) 第 2 回施設代表者会議および意見交換会
- 令和 4 年 1 月 15 日（土）・16 日（日）日赤本社 101・201 会議室
- (5) 日赤本社医療安全対策部会  
未定

### 2. 福利厚生

会員に祝電の申請をしていただけるように広報していく。

### 3. 学術部活動計画案

(1) 令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を6月に仙台市にて開催予定であるが、感染状況を考慮した形式を検討中である。

### 4. 専門部活動計画案

#### 【核医学専門部】

- (1) 核医学診療施設入退出時の管理区域用（RI 専用）スリッパ等の履き替えの見直し。
- (2) タスクシフトについて情報収集を行い、情報発信をおこなう。

#### 【乳房画像専門部】

- (1) web による研修を検討中

**【医療情報専門部】**

(1) 医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケート結果から、追加のアンケートおよびシステム導入事例報告など。アンケートにつきまして、回答数は 53 施設です。アンケートの結果を各施設にとって有益な情報に繋げたいと思います。

**【MRI 専門部】**

(1) 令和 2 年度に行うことができなかった活動を、今年度の活動予定としたい。  
 (2) 実施していたアンケートの結果集計を行い、技師会 SNS 等で報告していきたいと考えている。可能であれば頭部以外の部位についてもアンケートの作成を行っていききたい。

**【CT 専門部】**

- (1) CT 担当者メーリングリストの継続更新
- (2) DRL s 2020 の日赤グループデータのアンケート調査実地
- (3) 地区での CT 部門交流会の企画  
(オンラインでの交流会を検討します)
- (4) CT 業務に関する質問対応

**【治療専門部】**

- (1) 会員 SNS 利用促進を進め、会員間の情報交換および専門部からの情報発信を行う。
- (2) オンラインをよる専門部世話人会議の開催、オンラインをよる専門部活動を想定した準備を進める。
- (3) 学術総会やブロック大会に積極的に参画し、専門部より広報活動を行う。
- (4) 放射線関連学会と協力し会員に有益な情報を発信する。
- (5) 治療専門部会主催の研修会の開催
- (6) 放射線治療における品質管理体制強化のサポートおよび品質管理業務に従事する医学物理士などの職種への待遇改善を働きかける

**5. 災害医療支援部活動計画案****【原子力災害】**

- (1) 令和 3 年度 原子力災害医療アドバイザー会議出席
  - ・日赤救護員の育成研修にかかる体系整理（案）が示されている  
これに関して話し合いを進めていきたい。
- (2) 令和 3 年度 原子力災害対応基礎研修会
  - ・どのような形になるか未定ではあるが協力していきたい

**【国内災害】**

- (1) 今年度開催予定であった集合型研修会を来年度は Web で行いたい
  - ・開催時期、時間、内容に関しては今後部会で決めていきたい

**【国際災害】**

未定

## 6. 広報部活動計画案

- (1) 電子会誌 13 号の作成

### 【会誌内容】

- ①特集テーマ（未定）
- ②施設紹介（2～3 施設）
- ③技師長最終年総括
- ④本会の動き
- ⑤その他

## 7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページの変更および更新作業
  - ・会員 SNS のメーリングリスト整備
  - ・会員 SNS の共有ホルダー整理
  - ・画面構成の維持管理作業
- (2) 会員管理システムの更新作業
  - ・会員登録・退会申請作業
- (3) メーリングリストの維持管理
- (4) 次期ホームページの見直しと準備

## 8. チーム医療活動計画案

- (1) 診療放射線技師が関わるチーム医療活動について調査する。
- (2) 令和 3 年度チーム医療の推進に関する検討会に出席する。

## 9. 教育部活動計画案

(1) 令和 2 年度から継続して、提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行う。その後、汎用性のある形式のプログラムを作成し情報発信する。

## 10. 組織調査部活動計画案

- (1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。
- (2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。
- (3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。
- (4) 令和 3 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。
- (5) 令和 2 年度実施したベンチマーク調査に対するアンケート調査を実施する。

## 11. 表彰部活動計画案

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。  
会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 12. ブロック活動計画案

### (1) 北海道ブロック

①令和 3 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

開催日：未定

開催方法：Web 会議

②日本赤十字社診療放射線技師学術総会へ会長並び会員派遣予定

③北海道ブロック業務研修会並びに総会

開催日：令和 3 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）

会場：日本赤十字社北海道支部内会議室もしくは Web 会議（※Web の場合は日時未定）

### (2) 東北ブロック

①令和 3 年度東北ブロック施設代表者会議

例年ブロック業務研修会と同時開催予定であるが、COVID-19 の状況を鑑み Web 開催も検討する

②東北ブロック業務研修会

COVID-19 の感染状況によるが、例年通り 10 月を目途に Web 開催も踏まえ各施設代表者と相談し決定する。

### (3) 東部ブロック

①令和 3 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議

②東部ブロック業務研修会・令和 3 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議

### (4) 中部ブロック

①中部ブロック業務研修会

担当施設：諏訪赤十字病院

開催日：未定

開催方法：メディア配信

②中部ブロック施設代表者会議

担当施設：名古屋第一赤十字病院

開催日：未定

開催方法：未定

#### (5) 近畿ブロック

①近畿ブロック業務研修会（案）

開催日：令和 3 年 10 月 23 日（土）（予定）

開催方法：web もしくは Hybrid 開催（予定）

担当施設：京都第一赤十字病院

②近畿ブロック施設代表者会議（案）

開催日：令和 3 年 10 月頃（詳細は未定）

開催方法：Web 会議（詳細は未定）

#### (6) 中四国ブロック

①中四国ブロック業務研修会

開催日：令和 3 年 11 月

会場：山口県（詳細未定）または、Web 開催

②中四国ブロック施設代表者会議

日時：令和 3 年 11 月

会場：山口県（詳細未定）または、Web 開催

#### (7) 九州ブロック

①九州ブロック業務研修会

②九州ブロック施設代表者会議

担当施設：（鹿児島、嘉麻、今津）により 11 月～12 月頃、実施に向けて検討中。

会場：福岡市内予定

## 【第五号議案】

## 1. 令和3年学術定期総会予算案

令和3年度の学術定期総会は中止により予算案なし

## 2. 令和3年度予算（案）

## 令和3年度一般会計予算（案）

金額（円）

収 入 の 部				
科目	令和2年度予算額	令和3年度予算案	増減	備考
会費	4,833,000	4,764,000	△ 69,000	3,000×1,588名
入会金	90,000	60,000	△ 30,000	1,000×60名
HP広告収入	1,150,000	1,000,000	△ 150,000	広告協賛
雑収入	2,000	2,000	0	
前年度繰越金	1,306,346	3,318,297	2,011,951	
合計	7,381,346	9,144,297	1,762,951	

支 出 の 部				
科目	令和2年度予算額	令和3年度予算案	増減	備考
総会費	100,000	0	△ 100,000	総会運営費
会議費	2,150,000	2,000,000	△ 150,000	常任理事会、施設代表者会議
ブロック活動費	1,400,000	1,400,000	0	200,000×7ブロック
渉外費(旅費)	450,000	400,000	△ 50,000	本社、ブロック関連、その他
表彰費	270,000	250,000	△ 20,000	賞状副賞・活動費
学術部費	10,000	10,000	0	活動費
専門部費	30,000	30,000	0	活動費
財務部費	50,000	50,000	0	活動費
組織調査部費	10,000	0	△ 10,000	活動費
広報部費	40,000	40,000	0	活動費
IT 推進部費	40,000	40,000	0	活動費
災害医療支援部費	500,000	500,000	0	活動費
事務局費	300,000	300,000	0	活動費・慶弔費
学術総会助成金	0	0	0	
HP管理運営費	520,000	520,000	0	サーバー利用費、年間保守
基金積立費	100,000	100,000	0	
予備費	1,411,346	3,504,297	2,092,951	
合計	7,381,346	9,144,297	1,762,951	

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 令和3年度予算（案）を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣



## 【第六号議案】その他

## 1. 選挙管理委員会報告

日本赤十字社診療放射線技師会令和 3・4 年度役員選挙 審査報告書

開催日時： 令和 3 年 3 月 18 日（木）

開催方法： Zoom による Web 会議

出席者： 選挙管理委員長

山下 明（那須赤十字病院）

選挙管理委員

佐々木 昌俊（浜松赤十字病院）・萩原 健（原町赤十字病院）

野澤 哲也（水戸赤十字病院）・室井 康（成田赤十字病院）

事務局

大竹 覚（成田赤十字病院）

報告日： 令和 3 年 3 月 19 日（金）

報告者： 山下 明

審査内容：1) 立候補・推薦者届の確認

立候補者・推薦者は下記の 6 名であった。

## 記

会長	正者 智昭	（京都第二赤十字病院）	立候補
副会長	竹安 直行	（日本赤十字社医療センター）	立候補
副会長	荒井 一正	（武蔵野赤十字病院）	立候補
副会長	浅妻 厚	（神戸赤十字病院）	推薦
監事	松井 久男	（長浜赤十字病院）	立候補
監事	渡邊 寿徳	（前橋赤十字病院）	立候補

立候補届の確認、推薦者届における候補者の同意を確認した。役員選挙規定第 5 章 12 条の会費完納確認については事務局で行い全て問題なかった。

2) 当選の確認

立候補者及び推薦者が定数を超えなかった為、役員選挙規定第 4 章第 11 条により、上記の 6 名を当選とする。

以上

## 2. 日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程の一部改定について

令和 3 年 4 月 16 日（金）に開催された理事会（Web 開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程（以下規程）第 4 条に基づき規程の一部改定について審議が行われ、提出された改定案が議決されたので以下に報告します。

### (1) 改定の内容

- ①オンラインシステムを利用した会議等について規定を追加した
- ②規定の適用除外について追加した

### (2) 規程改定新旧対照表

改定後	現行
<p>(目的)</p> <p>第 1 条 この規程（以下本規程という）は会の役員または会員が会務のため出張する場合に支給する旅費について必要な事項を定める。</p> <p>(適用の範囲)</p> <p>第 2 条 <u>本規程に適用する会務は次の各号のいずれかに該当するものをいう</u></p> <p>(1)理事会</p> <p>(2)常任理事会</p> <p>(3)会長が本規程の適用を認めた会議及び会務活動</p> <p>(4)前各号においてオンラインシステムを利用したもの</p> <p>(出張命令)</p> <p>第 3 条会長は会務のため役員または会員に出張を命ずることができる。</p> <p>(旅費)</p> <p>第 4 条 前条により出張する場合は次の旅費を支給する。</p> <p>(1)交通費 実費</p> <p>(2)宿泊料 <u>実費、ただし一泊 12,000 円を上限とする。</u></p> <p>(3)日当 3,000 円</p> <p><u>2 移動を伴わないオンラインシステムによる会議については日当として 1,000 円を支給する。</u></p>	<p>(目的)</p> <p>第 1 条 この規程は会の役員または会員が公務のため出張する場合に支給する旅費について必要な事項を定める。</p> <p>(出張命令)</p> <p>第 2 条 会長は会務のため役員または会員に出張を命ずることができる。</p> <p>(旅費)</p> <p>第 3 条 前条により出張する場合は、次の旅費を支給する。</p> <p>交通費 実費</p> <p>日 当 3,000 円</p> <p>宿泊料 12,000 円（上限）</p>

<p><u>3.特別な事由による出張の場合は第1項の規定にかかわらず会長の決裁を経て必要な旅費を支給することができる。</u></p> <p><u>4.当会以外から旅費が支給される場合は前各項について適用されず旅費は支給しない。</u></p> <p>(改 廃)</p> <p><u>第5条</u>本規程の改廃は理事会の議決によるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正          昭和 44 年 11 月 7 日改正          昭和 47 年 11 月 28 日改正          昭和 52 年 11 月 17 日改正          昭和 62 年 8 月 27 日改正          平成 2 年 4 月 5 日改正          平成 10 年 5 月 27 日改正          平成 26 年 4 月 4 日改正          平成 28 年 4 月 8 日改正  <u>令和 3 年 4 月 16 日改正</u></p>	<p>2.特別な事由による出張の場合は、前項の規定にかかわらず会長の決裁を経て、必要な旅費を支給することができる。</p> <p>(改 廃)</p> <p>第 4 条 この規程の改廃は理事会の議決によるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正          昭和 44 年 11 月 7 日改正          昭和 47 年 11 月 28 日改正          昭和 52 年 11 月 17 日改正          昭和 62 年 8 月 27 日改正          平成 2 年 4 月 5 日改正          平成 10 年 5 月 27 日改正          平成 26 年 4 月 4 日改正          平成 28 年 4 月 8 日改正</p>
--	--

### 3. 名誉会員の選考について

令和3年4月16日（金）に開催された理事会（Web開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会会則第5条第1項2号に基づき名誉会員について審議が行われ、安彦 茂（仙台）・磯田 康範（松江）・戸口 豊宏（大分）の3名が名誉会員に推挙されたので報告します。